

2024年9月30日

各位

会社名 株式会社かんな丸
代表者名 代表取締役社長 野々村 孝志
(コード番号 7585 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 宮永 一彦
(TEL 048-815-6699)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月13日に、東証スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2024年6月末日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2024年6月末日時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式比率については2021年6月末日時点におきましては不適合でありましたが、2022年6月末日時点では基準を充たしました。一方、流通株式時価総額については基準を充たしていません。当社は、流通株式時価総額に関しては、2025年6月末までに、上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の適合 状況及びそ の推移	2021年6月末日時点	4,040	10,857	6.04	24.9
	2022年6月末日時点	3,718	11,927	4.83	27.4
	2023年6月末日時点	3,314	12,006	4.72	27.5
	2024年6月末日時点	2,962	12,294	5.26	28.2
上場維持基準		400	2,000	10.00	25.0
適合状況		適合	適合	不適合	適合
当初の計画書に記載した計画期間		—	—	2024年6月末	—
変更した計画期間				2025年6月末	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価（2023年7月～2024年6月）

当社は、2024年6月期まで7期連続で経常損失及び当期純損失を計上しており、業績不振とその過程において株主優待を休止したことによる株価低迷により、流通株式時価総額基準への不適合という事態に至っていると認識しております。従いまして、まずは業績回復をはかり早期に復配することが何よりも重要であると考えております。

2024年8月14日公表の決算短信においても経常損失172百万円計上するに至りましたが、営業店舗

の損益構造改革により、前期より162百万円の改善となっており、さらに改革を進めてまいります。

また引き続き事業ポートフォリオの充実を図ることを目標として、既存の大型店舗を自社ブランドであります「大衆すし酒場 じんべえ太郎」、「Italian Kitchen VANSAN」へ業態変更を実施し、また不採算店2店を閉店し、収益力強化に努めております。さらにフロー型ビジネスからストック型ビジネスへの取り組みとして、女性専用AIフィットネスジム「FURDI」への運営を開始しております。

当社は業績の更なる向上を目指し、既存店のファサード改善の取り組みと店内カウンター強化、内装等の一部改修を経て、店内視認性の向上と活気が伝わる店舗へと組み替えを進めております。

さらに当社の独自業態である「大衆すし酒場 じんべえ太郎」への業態変更も適宜進めております。

○上場維持基準に適合していない項目のこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

【流通株式時価総額】について

・上場維持基準適合に向け、前回までの計画では流通株式数の能動的な増加は検討に留めておりましたが、株価上昇と流通株式数の増加の両輪での取り組みが必要であるため、個別に取り組んでおります。株価及び流通株式数を増加させるにあたり当社が投資いただける会社である必要があるため、下記のとおり進めております。また、取締役会の監督機能を一層強化することでコーポレート・ガバナンス体制の更なる充実を図るとともに、権限委任による意思決定と業務執行を迅速化し、持続的な企業価値の向上を目指すことを目的として監査等委員会設置会社への移行を実施しております。

・IR強化の点に関しては、SNSを用いた店舗販促を進めるほか、会社の露出を高めるために様々な媒体の取材をお受けし、当社の取り組みを発信しております。

また、株価上昇対策として、営業黒字体質への早期転換を鋭意進めており、加えて2024年8月14日リリースの「株主優待制度の再開のお知らせ」のとおり、株主優待制度を再開する取り組みをリリースしております。

・流通株式数増加に係る取り組みは、当社の大株主である創業者とその資産管理会社が、当社の株式を安定して保有しており、大株主による株式の売却等によって流通株式数の増加を図るべく、大株主との協議を行ってまいります。なお、株価への影響を鑑みながら適時、適切に進めてまいります。

当社は2025年6月期末において、上場維持基準不適合である場合、1年間の改善期間となりますので、2025年6月を計画末日として変更いたします。

当社は、既存ブランドである「庄や」「日本海庄や」の活性化につなげると共に、FC事業である「Italian Kitchen VANSAN」、新FC事業である「FURDI」の展開、及び、自社ブランド「大衆すし酒場 じんべえ太郎」のブラッシュアップを推進し収益改善を確かなものとし、更なる企業価値の向上に取組み、流通株式時価総額基準への適合を図ってまいります。

以上